

やさど



かしこく、あたたかく、たくましく

平成24年9月19日

第13号

運動会に向けて力を出し切ろう

9月初めから始まった運動会の練習が、29日が近づくとつれ、徐々に熱を帯びてきました。学年競技の練習のほか、全校練習も始まりました。子どもたちはリズムの振り付けを覚えたり、自分の立ち位置を確認したりするのに一生懸命です。今週は、残念ながら雨模様のスタートとなりましたが、様々な場面ではつらつとがんばる姿を見せてくれています。係の打合せで真剣に説明を聞く姿、廊下を汗びっしょりで教室へ帰っていく姿など・・・。



八郷小学校の学校ビジョンの一つに『たくましく』—規則正しい生活をする子・自ら体力をのばす子—があります。一人一人が自分のめあてを持って粘り強く努力することで、たくましい心と体が育まれます。また、練習を通して子どもどうしがかかわり合う中で、支え合いや助け合いを学んでいきます。本番に向かっての練習や努力の中で得るものはたくさんあると思います。一致団結して一生懸命に取り組むことが、必ず人間形成に役立ちます。

運動会では、「運動会を成功させよう」と全力で取り組む子どもたちの姿を見ていただき、応援していただきますようお願いします。

また、運動会では保護者の方の参加の「つなひき」や地域・児童参加の「大玉送り」があります。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしています。

大切な学習をしました・・・5年稲刈り

9月4日午前、5年が春に田植えをさせてもらった田の稲刈りを体験しました。9月に入ってから曇りや突如の雷雨があり、天候が心配されましたが、当日は曇ってはいたもののだんだん



良いお天気となりました。稲刈りの前に、米作りの協力者の小崎さんから鎌を使って稲刈りすることや足踏み脱穀機による脱穀をご指導いただきました。田んぼで黄金色に実った稲穂を前に子

どもたちは、やる気満々。刈り進むにつれてどんどん手際よく上手に刈ることができ大満足の顔でした。足踏み脱穀は協力者の渡部さんにお世話になりました。実際に足で踏みながらの脱穀はとても難しそうで、稲が巻き込まれそうになったり逆回転することがあったりで、傍について見守っていただきました。



昔のやり方を少しでも体験し、農業の大変さや米作りに対する思いを感じ取ることができたと思います。昔子どもの頃、お茶碗にご飯粒が残っていて祖父に叱られたことをふと思い出しました。お米は当たり前の普通の食べ物ですが、大切にされていたのですね。

収穫したお米は11月の自然教室の飯盒炊さんでおいしくいただきます。

学校をよくしたい・・・後期児童会役員選挙

後期児童会役員を決める選挙がありました。児童会役員は6年4名、5年生2名の計6名ですが、5,6年合わせて18名が立候補しました。9月14日1時間目、4年生以上の児童が体育館に集まって立会演説会があり、その後投票をしました。どの候補者も学校のことを真剣に考えているのが伝わり、とても頼もしく感心させられました。「みんなが楽しく過ごせる学校にしたい」「元気にあいさつができるように」「ベルマーク運動に力を入れて助け合いたい」などと訴えていました。誰が当選してもきっといい学校になるだろうと楽しみにしています。



ミュージカルに感動・・・6年 こころの劇場

こころの劇場とは、全国の子どもたちに演劇の感動を届けるために、劇団四季と舞台芸術センターが行っている事業です。14日、四日市市文化会館で6年生が「王様の耳はロバの耳」のミュージカルを見ました。劇団四季だけあって歌・踊り・振り付けが素晴らしく、子どもたちは真剣に見入っていました。特に八郷小学校は最前列だったので、顔の表情までくわしく見ることができました。劇を通して本当のことを話すことの大切さ、勇気をもつことを教えてくれました。本物の劇を間近で見ることができて、子どもたちは幸せだなあと感じました。

